



2020年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月12日

上場会社名 株式会社アルファ 上場取引所 東
 コード番号 4760 URL <http://www.popalpha.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高尾 宏和
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長 (氏名) 難波 和彦 TEL 086-277-4511
 定時株主総会開催予定日 2020年11月26日 配当支払開始予定日 2020年11月27日
 有価証券報告書提出予定日 2020年11月27日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年8月期の連結業績（2019年9月1日～2020年8月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|----------|-------|-------|------|-------|------|-------|---------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年8月期 | 6,130 | △12.9 | △474 | — | △433 | — | △610 | — |
| 2019年8月期 | 7,037 | △5.7 | 18 | △89.8 | 40 | △76.7 | 7 | △93.6 |

（注）包括利益 2020年8月期 △379百万円（—%） 2019年8月期 △225百万円（—%）

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|-----------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2020年8月期 | △759.28 | — | △28.6 | △9.2 | △7.7 |
| 2019年8月期 | 8.72 | — | 0.3 | 0.8 | 0.3 |

（参考）持分法投資損益 2020年8月期 ー百万円 2019年8月期 ー百万円

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2020年8月期 | 4,252 | 1,921 | 45.2 | 2,389.62 |
| 2019年8月期 | 5,151 | 2,349 | 45.6 | 2,921.53 |

（参考）自己資本 2020年8月期 1,921百万円 2019年8月期 2,349百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2020年8月期 | △385 | 199 | 195 | 597 |
| 2019年8月期 | 63 | 28 | 48 | 588 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当 率(連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2019年8月期 | — | 0.00 | — | 60.00 | 60.00 | 48 | 688.1 | 1.9 |
| 2020年8月期 | — | 0.00 | — | 40.00 | 40.00 | 32 | — | 1.5 |
| 2021年8月期（予想） | — | 0.00 | — | 40.00 | 40.00 | | 643.1 | |

3. 2021年8月期の連結業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-------|-------|------|---|------|---|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期（累計） | 2,980 | △11.5 | △50 | — | △50 | — | △55 | — | △68.39 |
| 通期 | 6,370 | 3.9 | 20 | — | 10 | — | 5 | — | 6.22 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — (社名) —、除外 — 社 (社名) —
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 2020年8月期 | 915,444株 | 2019年8月期 | 915,444株 |
| 2020年8月期 | 111,280株 | 2019年8月期 | 111,235株 |
| 2020年8月期 | 804,206株 | 2019年8月期 | 804,236株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年8月期の個別業績（2019年9月1日～2020年8月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年8月期 | 5,710 | △13.3 | △435 | — | △392 | — | △645 | — |
| 2019年8月期 | 6,589 | △4.7 | 41 | △75.8 | 75 | △56.7 | 42 | △61.1 |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|----------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年8月期 | △802.59 | — |
| 2019年8月期 | 52.56 | — |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|----------|-------|--|-------|--|--------|--|----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | | 円 銭 | |
| 2020年8月期 | 3,881 | | 1,864 | | 48.0 | | 2,318.51 | |
| 2019年8月期 | 4,851 | | 2,554 | | 52.7 | | 3,176.53 | |

(参考) 自己資本 2020年8月期 1,864百万円 2019年8月期 2,554百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算説明会の内容（動画）については、説明会資料とともに、2020年10月13日（火）より当社ウェブサイトにて掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 3 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 3 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 6 |
| 連結損益計算書 | 6 |
| 連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 8 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (追加情報) | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項) | 12 |
| (表示方法の変更) | 13 |
| (連結貸借対照表関係) | 14 |
| (連結損益計算書関係) | 14 |
| (連結株主資本等変動計算書関係) | 16 |
| (連結キャッシュ・フロー計算書関係) | 17 |
| (セグメント情報) | 18 |
| (1株当たり情報) | 18 |
| (重要な後発事象) | 18 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境は改善傾向にあったものの、製造業を中心とした低調な輸出、消費税率引き上げ後の消費者マインドの低下、年明け以降の世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、世界経済・日本経済が減速し、輸出や生産活動ならびに個人消費も縮小している状況です。新型コロナウイルス感染の状況については、第2波の流行はピークに達してはいるものの、今後、収束するかどうかについては現時点では不明であり、感染の再拡大への警戒が必要な状況です。

加えて、米中貿易摩擦や世界経済減速の影響等を受け今後の日本経済は不安材料も多く先行き不透明な状況が続くものと推察します。

このような環境の中、当社グループは引き続きメーカー・小売業のタイアップ企画である消費者向け販促キャンペーンの受注強化など、販促製品・サービスを組み込んだ企画・提案に注力してまいりました。

自社企画製品は、2019年10月の消費税増税の影響等により流通小売業の販促費支出への抑制姿勢が強まったこと、新型コロナウイルス感染防止の目的のため、また中小流通小売業へのイベント等に対する活動自粛の要請が継続している影響等により、前連結会計年度を下回る実績となりました。

別注製品は、採算性を重視した取引の選別を引き続き推進しておりますが、新型コロナウイルス感染防止の目的のため、メーカー向けキャンペーンの自粛が継続している影響等により、前連結会計年度を下回る実績となりました。

商品は、ノベルティ関連商品や演出物の売上について新型コロナウイルス感染防止を目的とした、さまざまな活動自粛により、経済の停滞伸び悩みがあり、前連結会計年度を下回る実績となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、前連結会計年度を12.9%下回る6,130百万円となりました。

内訳は、「自社企画製品」が736百万円（前年同期比14.7%減）、構成比で12.0%、「別注製品」が3,354百万円（前年同期比13.1%減）、構成比で54.7%、「商品」が2,039百万円（前年同期比11.9%減）、構成比で33.3%となりました。

損益面では売上高の減少に加え、現在の日本の経済状況を鑑み将来における製商品在庫の販売可能性について厳しく見積りを実施したことで在庫評価損が増加したこと等により売上総利益が減少しました。また、退職給付費用の増加による人件費の増加やソフトウェア開発等による一般管理費も増加したことにより営業損失は474百万円（前年同期は18百万円の営業利益）、経常損失は433百万円（前年同期は40百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する当期純損失は610百万円（前年同期は7百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）となりました。

なお、当社グループは広告等販売促進用品の企画・製作及び販売等を行う事業の単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ898百万円減少し4,252百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が230百万円減少したこと、受取手形及び売掛金が305百万円減少したこと、商品及び製品が143百万円減少したこと、未収還付法人税等が36百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ651百万円減少し2,594百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が37百万円減少したこと、無形固定資産が23百万円減少したこと、投資その他の資産が繰延税金資産の取り崩し等のため186百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ247百万円減少し1,657百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が142百万円減少したこと、短期借入金が増加したこと、未払金が366百万円減少したこと、未払法人税等が37百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ332百万円減少し1,923百万円となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債が174百万円減少したこと、繰延税金負債が32百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ138百万円減少し407百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が658百万円減少したこと、退職給付に係る調整累計額が227百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ427百万円減少し1,921百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、9百万円増加し、当連結会計年度末は597百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において、営業活動の結果使用した資金は385百万円（前年同期は63百万円の獲得）となりました。これは、税金等調整前当期純損失が481百万円となったことや、退職給付に係る負債の増加額123百万円、売上債権の減少額305百万円、たな卸資産の減少額142百万円、仕入債務の減少額137百万円、未払金の支払等によりその他の負債の減少額384百万円があったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において、投資活動の結果得られた資金は199百万円（前年同期比170百万円増）となりました。これは、定期預金の預入による支出120百万円、定期預金の払戻による収入360百万円、無形固定資産の取得による支出45百万円があったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において、財務活動の結果得られた資金は195百万円（前年同期比147百万円増）となりました。これは、短期借入金の純増加額220百万円、長期借入れによる収入150百万円、長期借入金の返済による支出116百万円、配当金の支払額48百万円があったこと等によるものです。

(4) 今後の見通し

今後の我が国経済の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染の状況について第2波の流行はピークに達してはいるものの、このあと収束するかどうかについては現時点では不明であり、感染の再拡大への警戒が必要な状況です。加えて、米中貿易摩擦や世界経済減速の影響等を受け不透明感が漂っております。

今後の当社グループにつきましては、ポストコロナを踏まえた現行体制の見直しおよび今後の事業体制を踏まえた人員・システムの最適化など、全社的な収益基盤の強化に向けた取り組みを推進してまいります。

具体的には、長期主要三事業である「POPギャラリー事業」「店頭プロモーション事業」「サービス・デザイン事業」を中心とし、またインサイドセールスの導入による非対面取引チャネルの拡大、POPギャラリーオンライン事業・POPKIT事業等インターネットによるデジタル分野と連動した高付加価値企画提案活動の強化を図ってまいります。

そして企画料・デザイン料の徴求促進やSNSを用いたクロズドキャンペーン、動画POPの伸長、地方自治体への提案強化に注力してまいります。

なお、通期の連結業績見通しは、売上高6,370百万円（前期比3.9%増）、営業利益20百万円（前期は474百万円の営業損失）、経常利益10百万円（前期は433百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益5百万円（前期は610百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）であります。

売上高の商品分類別では、自社企画製品は、“POP GALLERY”オンラインショップ（WEB受注）による売上増、別注製品・商品は、企画提案の強化による消費者向け販促キャンペーンの受注増、POPKIT事業拡大を目指していきます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年8月31日) | 当連結会計年度 (2020年8月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,334,025 | 1,103,654 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,255,986 | 950,676 |
| 商品及び製品 | 543,401 | 399,732 |
| 仕掛品 | 41,119 | 42,529 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,243 | 3,178 |
| 未収還付法人税等 | — | 36,812 |
| その他 | 69,104 | 58,989 |
| 貸倒引当金 | △795 | △814 |
| 流動資産合計 | 3,246,085 | 2,594,757 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 789,430 | 795,796 |
| 減価償却累計額 | △592,300 | △608,705 |
| 減損損失累計額 | △3,860 | △19,505 |
| 建物及び構築物 (純額) | ※1 193,269 | ※1 167,585 |
| 車両運搬具 | 27,659 | 32,443 |
| 減価償却累計額 | △16,287 | △21,870 |
| 車両運搬具 (純額) | 11,372 | 10,572 |
| 工具、器具及び備品 | 168,688 | 187,002 |
| 減価償却累計額 | △131,321 | △155,167 |
| 減損損失累計額 | △1,514 | △3,899 |
| 工具、器具及び備品 (純額) | 35,852 | 27,934 |
| 土地 | ※1 1,136,967 | ※1 1,136,967 |
| リース資産 | 31,563 | 19,509 |
| 減価償却累計額 | △28,034 | △19,373 |
| リース資産 (純額) | 3,528 | 136 |
| 有形固定資産合計 | 1,380,990 | 1,343,197 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 60,395 | 57,640 |
| のれん | 14,500 | — |
| リース資産 | 5,427 | — |
| その他 | 9,420 | 9,061 |
| 無形固定資産合計 | 89,743 | 66,702 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 52,171 | 57,409 |
| 長期貸付金 | — | 21,406 |
| 従業員に対する長期貸付金 | 2,162 | 120 |
| 繰延税金資産 | 213,251 | — |
| 差入保証金 | 103,782 | 103,324 |
| 退職給付に係る資産 | — | 28,850 |
| その他 | 63,054 | 36,788 |
| 貸倒引当金 | △104 | △146 |
| 投資その他の資産合計 | 434,319 | 247,751 |
| 固定資産合計 | 1,905,052 | 1,657,651 |
| 資産合計 | 5,151,138 | 4,252,409 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度 (2019年8月31日) | 当連結会計年度 (2020年8月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 518,692 | 376,529 |
| 電子記録債務 | 211,894 | 216,091 |
| 短期借入金 | ※1,※2 600,000 | ※1,※2 820,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | ※1 96,696 | ※1 126,696 |
| リース債務 | 9,063 | 136 |
| 未払金 | 460,302 | 94,285 |
| 未払消費税等 | 29,711 | 50,312 |
| 未払費用 | 89,758 | 86,159 |
| 未払法人税等 | 47,294 | 9,887 |
| 前受金 | 65,869 | 60,208 |
| 賞与引当金 | 94,742 | 70,688 |
| その他 | 32,120 | 12,711 |
| 流動負債合計 | 2,256,146 | 1,923,706 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | ※1 354,428 | ※1 357,732 |
| リース債務 | 136 | — |
| 長期末払金 | 15,092 | 15,092 |
| 退職給付に係る負債 | 175,819 | 1,522 |
| 繰延税金負債 | — | 32,712 |
| 固定負債合計 | 545,475 | 407,059 |
| 負債合計 | 2,801,622 | 2,330,766 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 409,796 | 409,796 |
| 資本剰余金 | 417,733 | 417,733 |
| 利益剰余金 | 1,941,824 | 1,282,950 |
| 自己株式 | △264,190 | △264,263 |
| 株主資本合計 | 2,505,162 | 1,846,216 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 14,213 | 17,852 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △169,859 | 57,574 |
| その他の包括利益累計額合計 | △155,645 | 75,426 |
| 純資産合計 | 2,349,516 | 1,921,643 |
| 負債純資産合計 | 5,151,138 | 4,252,409 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日) |
|--------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 7,037,579 | 6,130,207 |
| 売上原価 | 4,243,866 | 3,815,254 |
| 売上総利益 | 2,793,713 | 2,314,953 |
| 販売費及び一般管理費 | ※1, ※2 2,775,563 | ※1, ※2 2,789,310 |
| 営業利益又は営業損失 (△) | 18,150 | △474,356 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 118 | 119 |
| 受取配当金 | 3,814 | 1,671 |
| 保険解約返戻金 | — | 22,576 |
| 助成金収入 | 1,000 | 21,823 |
| 投資有価証券売却益 | 32,445 | — |
| 受取手数料 | 638 | 547 |
| その他 | 1,229 | 2,136 |
| 営業外収益合計 | 39,245 | 48,874 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7,876 | 7,031 |
| 為替差損 | 3 | — |
| 投資有価証券評価損 | 7,909 | — |
| その他 | 915 | 678 |
| 営業外費用合計 | 16,705 | 7,709 |
| 経常利益又は経常損失 (△) | 40,689 | △433,191 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | ※3 1,772 | — |
| 特別利益合計 | 1,772 | — |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | ※4 3,141 | ※4 48,668 |
| 特別損失合計 | 3,141 | 48,668 |
| 税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失 (△) | 39,321 | △481,860 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 40,748 | 7,053 |
| 法人税等還付税額 | ※5 — | ※5 △23,037 |
| 法人税等調整額 | △8,436 | 144,745 |
| 法人税等合計 | 32,311 | 128,760 |
| 当期純利益又は当期純損失 (△) | 7,009 | △610,621 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△) | 7,009 | △610,621 |

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日) |
|------------------|--|--|
| 当期純利益又は当期純損失 (△) | 7,009 | △610,621 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △38,340 | 3,638 |
| 退職給付に係る調整額 | △193,866 | 227,433 |
| その他の包括利益合計 | △232,207 | 231,072 |
| 包括利益 | △225,197 | △379,548 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | △225,197 | △379,548 |
| 非支配株主に係る包括利益 | — | — |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

(単位: 千円)

| | 株主資本 | | | | |
|--------------------------|---------|---------|-----------|----------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 409,796 | 417,733 | 1,983,069 | △264,104 | 2,546,494 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △48,255 | | △48,255 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 7,009 | | 7,009 |
| 自己株式の取得 | | | | △85 | △85 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | △41,245 | △85 | △41,331 |
| 当期末残高 | 409,796 | 417,733 | 1,941,824 | △264,190 | 2,505,162 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 純資産合計 |
|--------------------------|----------------------|----------------------|---------------------------|-----------|
| | その他有 価証券評 価差額金 | 退職給付 に係る調 整累計額 | その他の 包括利益 累計額合 計 | |
| 当期首残高 | 52,553 | 24,007 | 76,561 | 2,623,055 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | △48,255 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | | 7,009 |
| 自己株式の取得 | | | | △85 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額) | △38,340 | △193,866 | △232,207 | △232,207 |
| 当期変動額合計 | △38,340 | △193,866 | △232,207 | △273,538 |
| 当期末残高 | 14,213 | △169,859 | △155,645 | 2,349,516 |

当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位: 千円)

| | 株主資本 | | | | |
|--------------------------|---------|---------|-----------|----------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 409,796 | 417,733 | 1,941,824 | △264,190 | 2,505,162 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △48,252 | | △48,252 |
| 親会社株主に帰属する 当期純損失 (△) | | | △610,621 | | △610,621 |
| 自己株式の取得 | | | | △72 | △72 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | △658,873 | △72 | △658,946 |
| 当期末残高 | 409,796 | 417,733 | 1,282,950 | △264,263 | 1,846,216 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 純資産合計 |
|--------------------------|----------------------|----------------------|---------------------------|-----------|
| | その他有 価証券評 価差額金 | 退職給付 に係る調 整累計額 | その他の 包括利益 累計額合 計 | |
| 当期首残高 | 14,213 | △169,859 | △155,645 | 2,349,516 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | △48,252 |
| 親会社株主に帰属する 当期純損失 (△) | | | | △610,621 |
| 自己株式の取得 | | | | △72 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額) | 3,638 | 227,433 | 231,072 | 231,072 |
| 当期変動額合計 | 3,638 | 227,433 | 231,072 | △427,873 |
| 当期末残高 | 17,852 | 57,574 | 75,426 | 1,921,643 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日) |
|-----------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△) | 39,321 | △481,860 |
| 減価償却費 | 84,112 | 75,296 |
| のれん償却額 | 500 | 3,000 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △87 | 62 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 150 | △24,054 |
| 退職給付に係る資産の増減額(△は増加) | 12,245 | — |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 16,077 | 123,907 |
| 受取利息及び受取配当金 | △3,932 | △1,790 |
| 支払利息 | 7,876 | 7,031 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △32,445 | — |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 7,909 | — |
| 有形固定資産売却損益(△は益) | △1,772 | — |
| 減損損失 | 3,141 | 48,668 |
| 保険解約返戻金 | — | △22,576 |
| 助成金収入 | — | △21,823 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △37,072 | 305,310 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △27,682 | 142,324 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △63,311 | △137,965 |
| 前受金の増減額(△は減少) | △8,693 | △5,660 |
| 長期未払金の増減額(△は減少) | △340,186 | — |
| その他の資産の増減額(△は増加) | 7,676 | 6,645 |
| その他の負債の増減額(△は減少) | 379,934 | △384,635 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △2,445 | 18,702 |
| その他 | 0 | 369 |
| 小計 | 41,316 | △349,049 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3,912 | 1,806 |
| 利息の支払額 | △7,782 | △6,976 |
| 助成金の受取額 | — | 21,823 |
| 法人税等の支払額 | △10,918 | △52,795 |
| 法人税等の還付額 | 37,240 | — |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 63,768 | △385,192 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △25,002 | △120,000 |
| 定期預金の払戻による収入 | 126,065 | 360,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △115,152 | △29,463 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 3,426 | — |
| 無形固定資産の取得による支出 | △19,386 | △45,608 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △360 | — |
| 投資有価証券の売却による収入 | 73,918 | — |
| 事業譲受による支出 | △15,000 | — |
| 保険積立金の解約による収入 | — | 53,119 |
| 長期貸付けによる支出 | — | △20,000 |
| 長期貸付金の回収による収入 | — | 396 |
| 従業員に対する長期貸付けによる支出 | △2,500 | — |
| 従業員に対する長期貸付金の回収による収入 | 688 | 240 |
| その他 | 2,259 | 418 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 28,957 | 199,101 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 144,000 | 220,000 |
| リース債務の返済による支出 | △22,616 | △9,063 |
| 長期借入れによる収入 | 190,000 | 150,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △214,609 | △116,696 |
| 自己株式の取得による支出 | △85 | △72 |
| 配当金の支払額 | △48,238 | △48,447 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 48,450 | 195,719 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | — | — |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 141,176 | 9,628 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 446,849 | 588,025 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | ※ 588,025 | ※ 597,654 |

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて）

新型コロナウイルス感染の危険性継続に伴い、当社グループでは消費者向け販促キャンペーン、ノベルティ関連商品や演出物の自粛等、販促施策の抑制により売上高が減少し、当社グループの業績に大きな影響を与えております。

なお、感染拡大が続いている新型コロナウイルスの影響につきましては、店頭広告関連商品は、2021年2月頃まで続くと想定し、イベント自粛によるメーカーキャンペーンやイベントビジネスへの影響は2021年5月頃までには落ち着きを見せ、6月以降売上は徐々に改善すると仮定し、繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損の認識に関する会計上の見積りを行っております。

なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項）

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 2社

連結子会社の名称

株式会社オーケー企画

POPKIT株式会社

2. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の事業年度の末日は連結決算日と一致しております。

3. 会計方針に関する事項

（1）重要な資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券

その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

時価のないもの

移動平均法による原価法

② たな卸資産

商品及び製品、原材料、仕掛品

総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）

貯蔵品

最終仕入原価法

（2）重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法（ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法）

なお、主な耐用年数は、建物及び構築物10～50年、車両運搬具6年、工具、器具及び備品2～8年です。

② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法

なお、主な耐用年数は、自社利用のソフトウェア5年です。

③ リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっております。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

- (3) 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準
外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。
- (4) 重要な引当金の計上基準
- ① 貸倒引当金
債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
- ② 賞与引当金
従業員の賞与の支給に充てるため、支給見込額のうち当連結会計年度に負担すべき金額を計上しております。
- (5) 退職給付に係る会計処理の方法
当社は従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。
- ① 退職給付見込額の期間帰属方法
退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当連結会計年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。
- ② 数理計算上の差異の費用処理方法
数理計算上の差異は、各連結会計年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌連結会計年度から費用処理しております。
- ③ 小規模企業等における簡便法の採用
一部の連結子会社は、退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。
- (6) 重要なヘッジ会計の方法
- ① ヘッジ会計の方法
金利スワップについて特例処理の要件を満たしているため、特例処理を採用しております。
- ② ヘッジ手段とヘッジ対象
借入金支払利息を対象に金利スワップ取引によりヘッジを行っております。
- ③ ヘッジ方針
より安定的な条件による資金調達のため、金利情勢に応じて変動金利と固定金利とのスワップ取引を行うものとしております。
- ④ ヘッジ有効性評価の方法
特例処理の要件を満たしているため、有効性の評価を省略しております。
- (7) のれんの償却方法及び償却期間
のれんの償却は、5年間の定額法により償却を行っております。
- (8) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲
手許現金、要求払預金及び取得日から3カ月以内に満期の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少のリスクしか負わない短期的な投資からなっております。
- (9) その他連結財務諸表作成のための重要な事項
消費税等の会計処理
税抜方式を採用しております。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「助成金収入」は、営業外収益の100分の10を超えたため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた2,229千円は、「助成金収入」1,000千円、「その他」1,229千円として組み替えております。

(連結貸借対照表関係)

※1 担保資産及び担保付債務

担保に供している資産は、次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2019年8月31日) | 当連結会計年度 (2020年8月31日) |
|---------|-------------------------|-------------------------|
| 建物及び構築物 | 16,643千円 | 0千円 |
| 土地 | 125,000 | 125,000 |
| 計 | 141,643 | 125,000 |

担保付債務は、次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2019年8月31日) | 当連結会計年度 (2020年8月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 短期借入金 | 170,000千円 | 190,000千円 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 8,712 | 8,712 |
| 長期借入金 | 79,892 | 71,180 |
| 計 | 258,604 | 269,892 |

(根抵当権の極度額は、157,500千円であります。)

※2 当座貸越契約

当社及び連結子会社(株式会社オーケー企画)においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行7行と当座貸越契約を締結しております。これら契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (2019年8月31日) | 当連結会計年度 (2020年8月31日) |
|------------|-------------------------|-------------------------|
| 当座貸越極度額の総額 | 1,650,000 千円 | 1,650,000千円 |
| 借入実行残高 | 600,000 | 820,000 |
| 差引額 | 1,050,000 | 830,000 |

(連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日) |
|----------|--|--|
| 給料及び手当 | 1,365,373千円 | 1,362,517千円 |
| 賞与引当金繰入額 | 72,372 | 54,239 |
| 退職給付費用 | 59,811 | 136,976 |
| 貸倒引当金繰入額 | 35 | 165 |

※2 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費の総額

| | 前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日) |
|--|--|--|
| | 85,662千円 | 108,937千円 |

※3 固定資産売却益の内容は次のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日) |
|-------|--|--|
| 車両運搬具 | 1,772千円 | 一千円 |

※4 減損損失

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

| 場所 | 用途 | 種類 |
|--------|-------|-------------------|
| 名古屋市中区 | 名古屋支店 | 建物及び構築物、工具、器具及び備品 |
| 大阪市淀川区 | 大阪支店 | 建物及び構築物、工具、器具及び備品 |

当社グループは、原則として、管理上の区分（主として支店等）を基準としてグルーピングを行っております。当連結会計年度の営業損益において、減損の兆候がみられた支店等については帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失3,141千円として特別損失に計上いたしました。その内訳は、建物及び構築物1,948千円及び工具、器具及び備品1,193千円であります。

なお、当資産グループの回収可能価額は正味売却価額（備忘価額）により測定しております。

当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

| 場所 | 用途 | 種類 |
|---------|------------|---------------------------|
| 福岡市博多区 | 福岡支店 | 工具、器具及び備品 |
| 東京都江戸川区 | 株式会社オーケー企画 | 建物及び構築物、工具、器具及び備品、ソフトウェア等 |
| 東京都港区 | POPKIT株式会社 | のれん、ソフトウェア等 |

当社グループは、原則として、管理上の区分（主として支店等）を基準としてグルーピングを行っております。当連結会計年度の営業損益において、減損の兆候がみられた支店等については帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失48,668千円として特別損失に計上いたしました。その内訳は、建物及び構築物15,644千円、工具、器具及び備品2,385千円、のれん11,500千円、ソフトウェア18,181千円及びその他957千円であります。

なお、当資産グループの回収可能価額は正味売却価額（備忘価額）により測定しております。

※5 法人税等還付税額

当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

法人税等還付税額は欠損金の繰戻し還付によるものであります。

(連結株主資本等変動計算書関係)

前連結会計年度(自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

| | 当連結会計年度期首 株式数(千株) | 当連結会計年度増加 株式数(千株) | 当連結会計年度減少 株式数(千株) | 当連結会計年度末株 式数(千株) |
|---------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|
| 発行済株式 | | | | |
| 普通株式 | 915 | — | — | 915 |
| 合計 | 915 | — | — | 915 |
| 自己株式 | | | | |
| 普通株式(注) | 111 | 0 | — | 111 |
| 合計 | 111 | 0 | — | 111 |

(注) 普通株式の自己株式の株式数の増加0千株は单元未満株式の買取りによるものであります。

2. 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 |
|-----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|
| 2018年11月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 48,255 | 60 | 2018年8月31日 | 2018年11月29日 |

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 配当の原資 | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|-----------------------|-------|----------------|-------|-----------------|------------|-------------|
| 2019年11月25日 定時株主総会 | 普通株式 | 48,252 | 利益剰余金 | 60 | 2019年8月31日 | 2019年11月26日 |

当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

| | 当連結会計年度期首 株式数 (千株) | 当連結会計年度増加 株式数 (千株) | 当連結会計年度減少 株式数 (千株) | 当連結会計年度末株 式数 (千株) |
|----------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|
| 発行済株式 | | | | |
| 普通株式 | 915 | — | — | 915 |
| 合計 | 915 | — | — | 915 |
| 自己株式 | | | | |
| 普通株式 (注) | 111 | 0 | — | 111 |
| 合計 | 111 | 0 | — | 111 |

(注) 普通株式の自己株式の株式数の増加 千株は单元未満株式の買取りによるものであります。

2. 新株予約権及び自己新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 |
|-----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-------------|
| 2019年11月25日 定時株主総会 | 普通株式 | 48,252 | 60 | 2019年8月31日 | 2019年11月26日 |

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 配当の原資 | 1株当たり配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 |
|-----------------------|-------|----------------|-------|-----------------|------------|-------------|
| 2020年11月26日 定時株主総会 | 普通株式 | 32,166 | 利益剰余金 | 40 | 2020年8月31日 | 2020年11月27日 |

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

| | 前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日) |
|------------------|--|--|
| 現金及び預金勘定 | 1,334,025千円 | 1,103,654千円 |
| 預入期間が3か月を超える定期預金 | △746,000 | △506,000 |
| 現金及び現金同等物 | 588,025 | 597,654 |

（セグメント情報）

前連結会計年度（自 2018年9月1日 至 2019年8月31日）及び当連結会計年度（自 2019年9月1日 至 2020年8月31日）

当社グループは広告等販売促進用品の企画・製作及び販売等を行う事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

（1株当たり情報）

| | 前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日) |
|---------------------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 2,921円53銭 | 2,389円62銭 |
| 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△) | 8円72銭 | △759円28銭 |

（注） 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日) | 当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日) |
|--|--|--|
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円) | 7,009 | △610,621 |
| 普通株主に帰属しない金額 (千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円) | 7,009 | △610,621 |
| 普通株式の期中平均株式数 (株) | 804,236 | 804,206 |

（重要な後発事象）

（資金の借入）

当社および子会社の株式会社オーケー企画は、新型コロナウイルス感染症の影響による流動性リスクや市場動向を勘案し、安定した資金繰り確保を目的に長期運転資金として以下の通り総額500,000千円の資金調達を実施しました。当該資金調達は概ね市場実勢通りの利率で、いずれも新たな担保設定はしておりません。

株式会社アルファ

- (1) 借入先 株式会社トマト銀行
- (2) 借入金額 400,000千円
- (3) 借入日 2020年9月
- (4) 借入期間 7年

株式会社オーケー企画

- (1) 借入先 株式会社トマト銀行
- (2) 借入金額 100,000千円
- (3) 借入日 2020年9月
- (4) 借入期間 7年